

備北ナカポツ だより

BIHOKU NAKAPOTSU NEWS
No. 29

令和2年
3月1日発行

発行所/三次市十日市東三丁目14-1 三次市福祉保健センター1F TEL.(0824)-63-1896
一般社団法人備北地域生活支援協会 備北障害者就業・生活支援センター (発行人)森末博雄

行事報告

障害者雇用企業担当者交流会

令和元年11月28日開催

障害者を雇用されている企業やこれから雇用を検討されている企業等にお集まりいただき、交流会を開催しました。

当日は、17の企業や事業所から19名が参加され、障害者雇用の状況や障害者を雇用されている中での悩みなどを出し合いました。

今回は広島障害者職業センターとの共催により、障害者職業カウンセラーのアドバイスをいただきながらのワークショップとなりました。

多くの参加者から「参加してよかった」との声をいただき、今後とも継続した取り組みとしていくこととしました。

今後の日程についてはナカポツだよりやDMでご案内しますので、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。



第1回就活支援交流会

令和元年12月21日開催

ナカポツの登録者でなかなか仕事に就けない方と仕事に就いている方との交流会をワークショップ形式で開催しました。

当日はスタッフも含めて14名の参加があり、2つのグループに分かれて「仕事をするうえで皆さんに聞いてみたいこと」をそれぞれフセンに書いてもらい、それをグループ分けする作業を行いました。

『人間関係』や『サポート体制』、『休みの過ごし方』など色々な質問が出てきました。

また、現在仕事に就いている方から自らの体験や経験を話していただき、質疑も行いました。

参加者からは「交流ができてよかった」「仕事を頑張ってみつけられそうな気がする」などの好意的な意見が聞かれました。

これからも継続した交流を進めていきたいと考えていますので、興味のある方はぜひご参加ください。



備北ななつか病院の概要を教えてください。
当病院は、平成15年2月に介護療養と医療療養を併設した病院として84床で開設されました。
平成18年12月に113床に増床して、長期療養が必要な患者さんのための医療療養型病院とし、現在に至っています。

病院のモットーや基本方針などがありますか？
モットーは「安心と思いやりのある療養」で、医療・看護の必要な長期



井上看護部長

職場拝見
今回は庄原市七塚町にある「備北ななつか病院」を訪問し、看護部長の井上さんと職員の横山さんにお話を伺いました。



ななつか病院 全景

障害者雇用の状況について教えてください。
療養患者様にきめ細かいサービスを提供することを基本方針としています。

障害者雇用の状況について教えてください。
障害者雇用を始めたのは平成31年4月からです。
現在、病院の職員は68名でそのうち3名の障害者を雇用しています。
ナカポツに相談して色々支援してもらった中で、積極的な雇用につながっています。

障害者を雇用するうえで何か配慮をされていますか？
色々な障害に対して、その人に適した職場環境を考えながら配置しています。

横山さんの入社経緯や仕事について教えてください。
以前の会社が廃業した後、かわせみの家の作業所に通所していましたが、ナカポツのお世話で平成31年の4月に就職しました。仕事は病室のベッドのシーツ交換をしています。

仕事をするうえで大切にしていることがありますか？
シーツ交換ではわができないように気を付けています。また、汚れているところがないか目を配るようになっています。

私たち
羽ばたいています!



横山さん

ナカポツに対して一言
現在、働いている方への定着支援を引き続きお願いします。いつでも相談ののってもらえることを期待しています。



センター活動実績 (令和2年2月14日現在)

- 就職者数 350件 (H22年4月から累計)
- 企業実習 233件 (H22年4月から累計)

職種 就職先: 食品製造、製造業、福祉施設、林業病院、日用品販売量販店、農業、建設業etc



編集後記
令和元年度は2つの新しい事業を実施しました。ひとつが企業に対する支援事業としての交流会、もうひとつが仕事を探している障害者の就活支援交流会(ピアサポート交流会)です。
来年度もこうした取り組みを継続したいと考えていますので、よろしくお願いいたします。



横原 千洋 一言

今年1月から職場復帰しました。皆さんのお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いいたします!

復帰しました

事業所紹介

今回は社会福祉法人優輝福祉会が運営する就労移行支援事業所「ゆうしゃいん三次」を訪問し、若林支援員にお話を聞きました。

移行事業所の紹介をお願いします。

就労移行支援事業所ゆうしゃいん三次は2019年1月に再開しました。

就労移行事業は休止期間がありましたが、備北圏域にこの事業がなくなったこともあり今回再開となりました。



若林支援員



事務実習

事業所の業務内容について教えてください。

業務内容はつきのとおりです。

①就労移行支援業務

就職を目指しているが就労準備ができていない方や、就労生活にまだ自信が持てないなど就職活動に踏み出せない方、また就職はできたが長く続かないなどお困りの皆さんに登録いただき、個々のニーズに合わせたプログラムを立てスムーズに就労に繋がる支援をおこないます。

②就労アセスメント業務

これまで一般企業で就労経験のない方が就労継続B型の利用を考えられた時は、必ず就労レベルの確認(3日〜2か月)を受けることになっており、その確認と判定結果を実施し報告します。

事業所の対象者や利用時間などを教えてください。

利用対象者は満65歳までの障害をお持ちの方で、就労への支援を希望される方ならどなたでも最長2年間は利用いただけます。

定員は6名で、再開してからの1年間で7名の利用があり、うち2名の方が一般就職されました。

利用時間は9時30分から個別プログラムに沿った支援を行い、16時退所となっておりますが、本人の希望により午前中や午後だけの利用も可能です。

土曜日、日曜日はお休みです。(祝祭日は開所しています)

事業所の特徴があれば教えてください。

就労支援プログラムの中では、所内作業を実習としてとらえ、就労ニーズに沿った体験実習を提供しています。

利用期間中は利用者の負担を軽減するため、わずかではありますが高費用援助をしております。

ナカポツとのかわりについて一言

利用者の中で就労準備が整った方はナカポツ登録を行い、就労6か月経過後からは定着支援をナカポツにお願いしています。

仕事を始めてよかったことがありますか？

一緒に働いている人から「上手ね」とほめられることがうれしいです。

仕事をしています

困ることがありますか？

1年間、専従でシート交換をしているため、他の職員の方からやり方などをたずねられると少し負担になります。

これからの目標がありますか？

これからもこの仕事を続けていきたいです。また新しい仕事も覚えて、仕事の幅を広げたいと思っています。

ナカポツへの要望がありますか？

困ったときには気軽に相談に乗ってほしいと思います。



作業風景

ありがとうございました。

また、ナカポツへの相談者ですぐに就職が難しいと判断された方は私たちの事業所へ紹介してもらっています。

事業所のPRをお願いします。

「仕事につきたいけど一歩が踏み出せない」「仕事に出る生活リズムが…」など就労意欲はあるが困っている方、私たちの就労移行事業所へご相談ください。一緒に解決の糸口をみつけれられるはずです。



調理実習前のレシピチェック

ありがとうございました。



企業見学会報告

令和元年11月12日(火)広島市にある「広島障害者職業能力開発校」と「JR西日本あい威尔広島支店」を見学しました。



能開校

広島障害者職業能力開発校(能開校)

能開校は広島県が運営する障害者の職業訓練施設で障害に応じた8つのコースがあり、就学期間はコースによって6か月から2年となっています。授業料は無料(実習教材費は別途必要)でハローワーク



訓練状況の見学

JR西日本あい威尔広島支店

JR西日本の特例子会社で社員30名のうち23名(11月1日現在の障害者が働いています。事業内容は印刷、ビジネスサポート、清掃、ヘルスケア、グリーンアグリと様々で、障害種別に合わせた事業を展開されています。

からの指示で受講した場合は訓練手当を受けることもできます。遠方からの利用者には1人部屋の寮があり、食費込みで1か月、3万円から3万5千円で利用できます。

技術を身につけて就職したいとお考えの方にはお勧めの学校です。



あい威尔広島支店

現在は旧国鉄時代に建てられた古い建物ですが、令和2年8月頃には新社屋に移転し、バリアフリーの環境の中で仕事ができるようになるということです。

あい威尔の会社理念である「障がいの有無に関係なく、一人ひとりが活躍し、みんなが笑顔になれる会社」を目指して、社員の皆さん全員が頑張っておられる熱意を感じました。

今回の研修には総勢34名という多くの参加をいただきました。令和2年度も開催する予定ですので、よろしくお祈りします。